

# 令和4年度全国木材資源リサイクル協会連合会

## 通常総会議事録

開催日時：令和4年5月26日（木）14：30～15：30

場 所：江東公会堂 ティアラこうとう B1F大会議室  
（東京都江東区住吉2-28-36）

総会員数：正会員192社+6協会=198団体（うち議決権191）  
賛助会員28社、物流会員12社

出 席：正会員39社・5協会

書面表決：71通

委任状：49通 合計164名

事務局員：1名

### 議 事

第1号議案 令和3年度事業報告

第2号議案 令和3年度決算

第3号議案 令和4年度事業計画

第4号議案 令和4年度当初予算

第5号議案 定款の変更

### 報告事項

- (1) 木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会活動報告
- (2) 寄附金の募集について

### 議事内容

司会 専務理事 原 信男

#### 1. 司会からの総会成立の報告

総会の正会員の出席は39社・5協会であり、また正会員から120通の書面表決と委任状が提出されているので、併せて159社・5協会が出席したことになる。これは議決権数191団体の過半数を上回っており、総会が成立しているとの報告があった。

#### 2. 理事長挨拶 藤枝慎治 理事長

この数年、コロナ禍もあって木材発生量が落ち込み、寂しい結果となっている。今年度も、木材資源の復活、発生量が増えるという見通しはたたない。原因は様々である。経済の鈍化、ロシアのウクライナ侵攻による資材不足など。建設業界も資材が入らず、着工もできない。こういう時こそ、情報交換を密に、ユーザー、メーカーが一緒になって取り組んでいきたい。本日の総会は、令和3年度の事業報告や決算、また令和4年度の事業計画

や予算などの審議がある。コロナ禍もあり、密を避けて短時間で進行したい。一方で、慎重審議をお願いし、冒頭のご挨拶とする。

### 3. 議長選出

本日の総会の議長について、藤枝慎治理事長を議長とすることで了解を求めたところ、全員異議なく承認された。

### 4. 議事録署名人選出

櫻井慶氏、粕谷毅氏に議事録署名人となることでの了解を得、全員異議なく承認された。

### 5. 議 事 議長 藤枝 慎治 理事長

#### 第1号議案 「令和3年度事業報告」

議長が、事務局に第1号議案を説明することを求めた。

事務局から、事業の成果の主要な事項について次の説明があった。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により社会経済活動が制約される中、各種会議をリモートで開催した。また、役員・役職の改選の年であり、現行通り継続したこと、事務所の定期建物賃貸借期間が終了し、事務所移転の準備を進めたことなどの説明があった。

定款の事業に関しては、次の説明があった。

1 木材資源等の再利用に関する出版物、ホームページ等による普及啓発事業は、ホームページの構成の手直しが必要なことがわかり、その修正とデザインのリニューアルを行った。子供向けのリーフレット「木のリサイクルのおはなし」を作成し、エコプロ2021で活用した。

2 木材資源等の再利用に関する環境保全のための、イベント、セミナー、シンポジウム、講演等の開催事業は、新型コロナウイルスの関係から多くの催しが開催されない中、エコプロ2021に出展した。

3 木材資源等の再利用に関する技術及び法案整備のための調査・研究事業は、リモートによる委員会の開催、国への要望、木質バイオマス需給調査など各種調査の活用、FIT制度への対応、木質資源安定供給検討会等のほか、木質バイオマスのサーマル利用に関するヨーロッパ等の動きを踏まえたカーボンニュートラル及びDXの検討準備を進めた。

4 木材資源等の再利用を通じた環境保全に関する情報提供事業は、ホームページを活用して情報を提供したほか、木質資源安定供給検討会を開催した。また、国や自治体との調整を進めた。

5 木材資源等の再利用に関する活動を行う団体に関する助言、指導又は援助事業は、地域協会の総会等へ出席して情報交換した。

第1号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

#### 第2号議案 「令和3年度決算」

議長が、事務局に第2号議案を説明することを求めた。

事務局から、活動計算書、参考資料などに基づき次の説明があった。

経常収益は 9,175,688 円。会費収入は 5,234,000 円で微増、受取寄付金は 3,540,000 円で目標の 3,600,000 円をほぼ達成、また事業収益も増加し、前年比較で計 402,996 円の増。

経常費用は 7,270,408 円。新事務所の初期費用 624,800 円の増があったが、ホームページについて令和 2 年度の CMS の入替 660,000 円に対してリニューアル 440,000 円で 220,000 円の減、新型コロナウイルスの影響で会議や視察調査等の縮小が続き、前年比較で計 198,903 円の微増。コロナ前に比べて 120~130 万円の減。

結果、当期経常増減額は 1,905,280 円の増。

以上の説明について、矢吹監事から、適正なものと認めたとの報告があった。

第 2 号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

### 第 3 号議案 「令和 4 年度事業計画」

議長が、事務局に第 3 号議案を説明することを求めた。

事務局から、事業計画の概要について、令和 4 年度はとくにネットワークセキュリティ強化を進めるとともに、新しい事務所への移転があることなどの説明があった。

次に、活動方針及び定款に則した事業計画について次の説明があった。

活動方針については例年通りである。

1 木材資源等の再利用に関する出版物、ホームページ等による普及啓発事業としては、ホームページの活用、パンレットの改訂など。

2 木材資源等の再利用に関する環境保全のための、イベント、セミナー、シンポジウム、講演等の開催事業は、効果あるイベントへの出展や本棚講座の開催など。

3 木材資源等の再利用に関する技術及び法案整備のための調査・研究事業は、国への要望、各種調査の活用、FIT制度への対応、木質資源安定供給検討会等のほか、新しい動きとしてカーボンニュートラルWGの開催など。なお、木質資源安定供給検討会は11月29日に予定しているとの補足があった。

4 の木材資源等の再利用を通じた環境保全に関する情報提供事業及び 5 の木材資源等の再利用に関する活動を行う団体に関する助言、指導又は援助事業は、例年通りの実施。また、寄付金の募集について例年同様 360 万円の目標金額を設定し、支援をお願いすること。

第 3 号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

### 第 4 号議案 「令和 4 年度当初予算」

議長が、事務局に第 4 号議案を説明することを求めた。

事務局から、予算について資料に基づき次の説明があった。

経常収益は 9,247,000 円。会費は取扱量の減により微減、寄付金は例年同様の目標金額 3,600,000 円の設定、旧事務所の返還金など、前年度予算に比べて約 100,000 円の増。

経常費用は 11,473,000 円。事務所の移転費用を含めて地代家賃 1,338,000 円と 498,000 円の大幅な増、カーボンニュートラル WG の業務委託費 2,035,000 円、ネットワークセキュリティの強化による通信費 130,000 円の増などがあり、前年度予算と比較して 513,000 円の増。

これにより、正味財産増減額はマイナス 2,226,000 円の見込みであること。

第 4 号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

### 第 5 号議案 「定款の変更」 (

議長が、第 5 号議案について事務局から説明することを求めた。

事務局から、主たる事務所を令和 4 年 4 月 27 日に移転したことから、定款第 2 条（事務所）の項を新しい事務所の東京都中央区日本橋小伝馬町 13 番 5 号に変更したい旨の説明があった。

第 5 号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

## 6 報告事項

### (1) 木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会活動報告 (原専務理事)

事務局から、資料に基づき令和 3 年度の活動について次の報告があった。

委員会はコロナ禍で対面の会議が出来なかったが、第 1 回を令和 3 年 10 月 11 日、第 2 回を令和 4 年 3 月 25 日に、それぞれリモートにより開催した。第 1 回は広報関係を中心に意見交換した。第 2 回は、令和 4 年度の理事会提出議案を中心に意見交換した。

### (2) 寄附金の募集について

厳しい社会経済情勢であるが、令和 4 年度は前年度と同額の寄附額を見込んでいるので寄附募集の趣旨にご理解とご賛同をいただき、格別のご協力、ご支援をお願いする。

以上で通常総会におけるすべての審議、報告が終わり、この議事録通り相違ないとして、議長及び議事録署名人において記名捺印する。

令和 4 年 5 月 27 日

議 長 藤枝 慎治 ㊟

議事録署名人 櫻井 慶 ㊟

同 粕谷 毅 ㊟

議事録作成人 原 信男 ㊟